

丹生の歴史をめぐるみち



起点 勢和村丹生（丹生大師バス停）
 終点 大台町栃原（JR栃原駅）
 延長 8.8km
 利用タイプ C

沿線の風景

丹生大師の参門をくぐると、自然を生かした庭園があり古刹の雰囲気を漂わせている。古い丹生の町並みを横に眺めながら、町の小道に入ると、江戸時代から時を重ねて今も流れる立梅用水に出会う。用水沿いに植えられた紫陽花がみごとに咲き誇り、ひとときの安らぎを与えてくれる。幹線から外れて山道を進むと、昔、日本最大の生産で知られた水銀の坑跡があり、当時の栄華をしのぶことができる。その後山あいの道を行くと、櫛田川の風景が眼下に広がり、溪流と自然の奇岩の美しさに感動する。途中、芝生広場やスポーツ施設の整った勢和台公園に立ち寄り、ひとときの休息をとる。山々の緑と爽やかな風を満喫しながら歩を進めると、そこは終点栃原である。

主な見どころ

丹生大師、丹生神社、立梅用水、櫛田川渓谷、勢和台スポーツセンター、勢和台公園など



凡 例	
▲ 案内標識	Ⓜ 休憩所(四阿)
● 指導標識	◊ 展望施設
■ 公衆トイレ	Ⓟ 駐車場
——— 近畿自然歩道 - - - 近畿自然歩道(整備中・未整備) ——— 東海自然歩道	
〔利用タイプ〕	
Aタイプ	山地等でやや体力を要するコース
Bタイプ	山地、丘陵地を通るコースで一般向きのコース
Cタイプ	全体がほぼ平坦なコースで小さな子供でも利用可能なコース

1: 25,000

